学校番号	1007

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

素描の基礎的な知識への理解を深め、基本的な技能を身に付けさせる。
生徒の個性を伸ばし、豊かに表現する力を身に付けさせる。
観察力と表現力を身に付け、進路実現や制作に対する探究心へつなげる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
素描の基礎的知識を理解し、基本的な技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
光や陰影、奥行きなどの素描で表現される要素や働きについて考え、主題を基に個性を生かして、構想を練り表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】
美術の創造的な諸活動の良さを感じ、主体的に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術への幅広い関心興味を持ち、幅広い創造活動に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサン用具について	デッサン用具の使い方 タッチと明暗についての復習 2年次に身に付けた用具の使い方などの基礎を復習する。	a:「知」鉛筆の特性や線質が感情にもたらす効果や、素描で描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて用具の特性を生かすとともに、明暗や質感などの表現を工夫し、表現方法を工夫して創造的に表している。 b:「発」鉛筆による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、構図や形、陰影などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」線や明暗による表現の豊かさなどの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」主体的にモチーフから感じ取った特徴や鉛筆ならではの効果などを追求して、表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」主体的に素描の表現による作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシートなど	作品 ワークシートなど	作品 ワークシート 発表など

1学期	単体モチーフのデッサン	単体モチーフのデッサン モチーフの形、色、質感について考え、表現力を身に付ける	a:「知」鉛筆の特性や線質が感情にもたらす効果や、素描で描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて用具の特性を生かすとともに、明暗や質感などの表現を工夫し、表現方法を工夫して創造的に表している。 b:「発」鉛筆による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、構図や形、陰影などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」線や明暗による表現の豊かさなどの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」主体的にモチーフから感じ取った特徴や鉛筆ならではの効果などを追求して、表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」主体的に素描の表現による作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシートなど	作品 ワークシートなど	作品 ワークシート 発表など

2学期	2点モチーフ・3点モチーフのデッサン	形体や色、質感の違うモチーフを配置し、空間を意識して描写する。 入試の過去問題などの内容に取り組む	a:「知」鉛筆の特性や線質が感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて用具の特性を生かすとともに、明暗や質感などの表現を工夫し、表現方法を工夫して創造的に表している。 b:「発」鉛筆による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、構図や形、陰影などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」線や明暗による表現の豊かさなどの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」主体的にモチーフから感じ取った特徴や鉛筆ならではの効果などを追求して、表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」主体的に素描の表現による作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシートなど	作品 ワークシートなど	作品 ワークシート 発表など

3学期	デッサンを生かした作品	形体や色、質感の違うモチーフを配置し、空間を意識して描写する。 デッサンの描写の知識・技能と作者の個性を生かしてより豊かな表現の作品をめざす。	a:「知」鉛筆の特性や線質が感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて用具の特性を生かすとともに、明暗や質感などの表現を工夫し、個性を生かした表現方法を工夫して創造的に表している。 b:「発」鉛筆による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、構図や形、陰影などについて考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」線や明暗による表現の豊かさなどの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」主体的にモチーフから感じ取った特徴や鉛筆ならではの効果などを追求して、個性を生かした表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」主体的に素描の表現による作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な表現などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシートなど	作品 ワークシートなど	作品 ワークシート 発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度